

# 2009 年度 父母連第 5 回代表者会報告(10 月)

2009 年 10 月 17 日 (土)

司会：村松 記録：阿部

## 【出席】

□あおやぎ □あさひ □あずま □きたうら □きたや □こやま □さかえ  
□しのは □しんえい □しんぜん □せざき □たかさご □にしまち □ひかわ  
□やつか □やつかかみ □やなぎしま □やはた □第 2 きたうら  
□保育部会：須藤先生 □父母連事務局：高山、村松、段、橋爪、阿部

【欠席】なし

## 【配布物】

- ①レジュメ ②父母連ニュース第 5 号 (世帯分) ③新制度学習会のお知らせ (世帯分)
- ④父母連アンケート自由意見集計結果 (各園 2 部) ⑤発達保障プロジェクトチラシ (各園 2 部)
- ⑥市長懇談会当日資料 (案) (各園 2 部)

## 1. 報告事項

### (1) 父母連としての活動報告

- 9/12 (土) 第 2 回会長会開催
  - 9/13 (日) 草加母親大会分科会参加 (事務局：田村)
  - 9/18 (金) 草加市役所いきいき市民相談担当へ市長懇談会開催の要望書を提出
  - 9/18 (金) 保育課訪問 (事務局：阿部、中島、浜藺)
  - 9/26 (土) 育成保育保護者交流会 (多数のご参加ありがとうございました)
  - 9/26 (土) 民主教育をすすめる草加市民会議代表者会出席 (於：勤労福祉会館、会長：高山)
  - 10/4 (日) 父母連事務局会 (文化会館フリースペース)
  - 10/6 (火) 日本共産党主催「草加市次年度予算要望懇談会」出席 (於：勤労福祉会館、会長：高山)
  - 10/14 (水) 民主教育をすすめる草加市民会議主催「子育て環境の充実とゆきとどいた教育を実現する予算要望集会」出席 (於：市役所 5F 第 2 会議室、会長：高山)
  - 10/15 (木) 19:30～印刷作業 (父母連ニュース他) 草加文化会館ワーキングルームにて
- \*きたや父母会より、お手伝いの方 2 名が参加してくださいました。ありがとうございました！**
- 10/17 (土) 「第 5 回代表者会」勤労福祉会館 第 1 会議室にて

### (2) 2009 年度父母連アンケート自由意見集計結果について

ご協力ありがとうございました。たくさんのご意見をいただきました。これらの意見をもとに今年度の市長懇談会の要望項目に収れんさせました (後ほど協議いたします)。アンケート集計結果 2 部については、1 部を父母会閲覧用として、もう 1 部をぜひ各園の園長先生にお渡しください。その際に各園でアンケートであげられた項目や要望について、園長と話ができると良いと思います。

### (3) 草加母親大会報告

父母連ニュース参照。

### (4) 育成保育保護者交流会報告

父母連ニュース参照。※たくさんのご参加ありがとうございました。  
次回は 1 月もしくは 2 月の開催を計画しています。たくさんのご参加をお待ちしています。

### (5) 民主教育をすすめる草加市民会議主催「次年度要望懇談会」報告

草加市内の子育て・教育にかかわる各団体が集まって運動している団体。父母連も参加団体の一つとして活動している。今年度の要望懇談会における要望書に、父母連からは保育関連の最重要要望として「家庭保育室のより一層の充実と公立保育園での 0 歳児保育をぜひ継続してください」とあげていた(出席・回答は課長補佐)。

→保育課の回答：来年度の家家庭保育室の充実につきましては、よりよい保育環境の整備と低年齢児の待機児童対策として、家庭保育室への支援や増設予算の計上を行ってまいります。また、公立保育園での 0 歳児保育につきましては、よりよい保育を目指し、さかえ保育園、あさひ保育園及びにしまち保育園での 0 歳児保育を家庭

保育室に移行してまいりたいと考えております。なお、その他の保育園についてきましては、本年度同様に実施してまいります」

その他、要望事項として要望した項目に対する回答は以下の通りです。

- ・新設保育園、空き施設を利用した待機児童対策

→保育園の新設については、社会福祉法人や民間保育園の誘致をすすめていく

→空き施設利用の待機児童対策は、国の動向を見極めながら父母会等との調整をして、慎重に対応

- ・保育料の引き下げ

→応能負担として24段階に分かれた料金体系。ご理解賜りたい

- ・病児保育の実施

→平成20年度からファミリーサポートセンター事業実施、しかし子どもたちに真に必要なことは病気の時は親がそばについていられる社会づくりが必要ではないかと考えている

- ・完全給食の実施

→待機児童対策に予算を優先的に回す必要があるため、今のところ市が主体となった完全給食の実施は考えていない。

- ・職員は外部委託でなく、市の職員を配置すること

→保育や給食の外部委託は考えていない。掃除等の用務業務については、技能員が退職した園から順次業務委託に切り替えていく。

- ・全園での延長保育、育成保育の希望者全員の時間外保育受け入れ

→全園での延長保育は待機児童対策が緊急に必要としているため遅れている。育成保育の希望者全員の受け入れは原則的には受け入れているが、真にお子様に必要なことを考え、精神的・体力的に長時間保育が好ましくない場合にはできるだけ通常時間内の保育をお願いすることもある。

回答としては不十分なものが多く、質問もしたが「別の機会に回答する」とのことでした。回答者が課長補佐ということもあり、ぜひ市長懇談会では具体的な内容の話を詰めていきたいと思っています。

せざき：教育委員会からは市立高校の設置は検討段階とのこと。待機児が大変に多い状況で、7～8億かかる市立高校の設置よりも、是非保育園の新設にお金をかけてほしい。市長懇談会では強く要望してほしい。

事務局：おっしゃる通り、市長は7月の市長選アンケートの回答で市立高校の設置をマニフェストに挙げている。喫緊の課題ではない市立高校設置や土地の買収などに莫大なお金をかけるのではなく、例年になく10/1時点で待機児が400人を超えている現状に鑑み、有効な待機児童解消につながる保育園の新設などを強く市長に要望していきたい。

## (6) 第2回会長会の報告

→父母連ニュース参照。

- ・複数の保育園から、駐輪・駐車場問題が挙げられた。数年前より、車で送迎を行う保護者が増えている傾向がある。

## 2. 協議事項

### (1) 市長懇談会について

※別紙(当日資料、補足資料、父母連ニュース)参照。

・0歳児保育の廃止・移行については有効な手段でないということを数値的に明らかにしていきたい。保育課の説明では「公立保育園の待機児に数えられている多くの0歳児は家庭保育室に在籍している」とのことだが、それについても具体的に何名が在籍しているのかという話はない。家庭保育室の空き状況、在籍数、待機児数を見ても0歳児保育を廃止するメリットはどこにもないことは自明。その部分を私たちが納得できる形で話を進めていければと思っています。あくまで草加の保育をよりよいものにするため、建設的な懇談・意見交換の場にしていきたいと考えていますので、ぜひ各園から2名以上のご参加をお願いします。

※代表者会時に配布した市長懇談会資料を修正してください。1ページ目 中段「草加市の待機児数が9月1日現在で～」  
→<修正後>10月1日現在で、0歳児が115人、1歳児が99人、2歳児が111人と0～2歳児の待機児数が約80% (75.85%) を占めている状況です。

→「例えば0歳児の待機児数115名には、すでに家庭保育室に在室している数も含まれているので、待機児が多い」と市は主張するが、では実際に、待機児童数のうち何人が家庭保育室に在室しているのか?については、明確な回答がなく、実態がつかめていない状況である。また、公立の0歳児保育を廃止して0歳児保育室を空け、そこに1歳児を受け入れても、その後の1歳児・2歳児の受け入れを見通すと、父母連事務局の試算によると、0歳児保育室面積に見合った1歳児

を十分に受け入れることができない現実があるようである。父母連としては、家庭保育室の新設や充実については大いに賛成であるが、以上のような理由から、市による公立園の0歳児保育の廃止には、反対していきたい。また市は、整備計画（素案）や昨年度の市長懇談会要望書への回答書には、家庭保育室と公立園との連携を具体的に挙げているが、実際の現場にはその具体的な方ややり方については、周知されていない現状もある。22年度に0歳児保育が廃止される予定の保育園や市民にも、明確な説明もされていない状況では、

### 保育部会より

幼稚園経営者による保育園新設はここ数年行われているが、待機児の解消が追い付いていない。現場ではやはり、草加市の保育園自体が広くはないし、定員の弾力化により日々の保育で子どもたちのストレスや怪我などが増えるのではないかと憂慮している。最も良いのは、あずま園舎の有効利用が望ましいと思うし、公立園の0歳児保育をなくす意味が理解できない。家庭保育室はそれぞれ核となる保育園が設定されるらしいが、核となる保育園で0歳児保育を行っていないのにより良い連携などは難しい。保育園の臨時保育士は時給950円であるが、0歳児保育を担う家庭保育室保育士の時給は800円である。かなり厳しい労働条件である。

ひかわ：要望書の「正規職員の採用をお願いします」の欄に、“保育士が集まらないから、待機児施策が進まないという現状”があるならば、是非「保育士の労働条件の大変な現実」や「保育士の待遇の改善」も含めてほしい。

### (2) 新制度についての学習会について

- ・日程について：10月30日（金）19：00～20：30 講師：逆井直紀さん（保育研究所）
- ・場所等：中央公民館 第1第2講座室（保育は和室研修室）
- ・来賓として市長・保育課長・各市議にも案内を出しました
- ・本日チラシを配布します（世帯分）。新制度自体は政権交代がなった今でも廃止という議論にはなっていません。ぜひ学習してこの制度の危うさをみなさんと共通理解したいと思っています。

### 3. 各園の父母会より

さかえ：さかえ0歳児保育継続の署名886名を保育課長に10/16に提出した。1歳児の待機児を減らすには、0歳児保育を無くしてそのスペースに1歳児を受け入れていくことが必要である、との主張。家庭保育室と核となる公立園の園長や保育士が一体化？新たに家庭保育室7室が延長保育を実施、2室が土曜保育を実施している。21年度は家庭保育室が2室新設された。企業参入はさせない。㊟（公立から全ての0歳児保育を無くしていくのではなく、いくつかは残していったらいい、という方向を父母連として持って行ってはいいか？）ホームページ上はカット！0歳の子どもがいるので、認可外保育室を見学に行ったが、その実態に驚いた。入園料で5万円、保育料の他にも、暖房費・・・などなど様々な料金が必要である。小さい子どもが10人ほどいるところに、面接対応保育士が1名、保育士が1名。プラスチックの檻のようなものが部屋の中にずらりと並んでおり、本保育施設では絶対に事故はありません、と説明してくれた。そのような環境であるため事故は起きないのかもしれないが、保育環境としては、劣悪という印象を受けた。そのような現実に触れて、仕方なく、現在は職場に抱っこして連れて行っている状況である。9月さかえ保育園の近くのある家庭保育室に行った・・・4名の空き待ち。なぜ、さかえの0歳児保育を無くすのか？

あさひ：10/8に保育課に質問状を提出してきた。あさひの周りには5室家庭保育室があり、比較的恵まれていると思うが。待機児が多いのに、なぜ0歳児保育を廃止するのか？

にしまち：0歳児保育廃止についての自由意見アンケートをとり、そのまとめたものを、9月前に会長と副会長が保育課に出向いて提出した。二重送迎の問題などについてやりとりをしたようだ。

### 4. 今後の予定

- ・10/23 「2009草加市の明日の保育を考える市長懇談会」  
19：00～20：00 市役所西庁舎5F 第1第2会議室(保育は3F 契約課会議室)  
→※18:30に事務局・あさひ・さかえ・にしまち父母会がロビー集合し、事前打ち合わせを行う。
- ・10/30 新制度についての学習会 19：00～ 中央公民館 第1第2講座室（保育は和室研修室）  
→※10/26（月）までに参加者数と保育数を各園で把握し、父母連メールにてご連絡下さい。
- ・11/14 第6回代表者会 10：00～ 氷川コミュニティセンター集会室（保育は第1第2和室）  
→※2種類の署名用紙を、各々「保育園名・署名数を明記」の上、ご持参下さい。

### <保育部会・父母連事務局との10/30（金）学習会の打ち合わせ>

- ・チラシを「保育部会・父母連共催」に修正し、高山さんが市職組合事務所に送付する。  
※市職員労働組合事務所：パソコンメールアドレス soka-lgu@tcat.ne.jp
- ・学習会の費用は、保育部会と父母連とは折半する。  
当日の謝礼は、父母連で準備する。
  - 講師謝礼：2万円（交通費込）
  - 臨時保育士さん4名分謝礼：3000円（18:30～21:00）×4名分＝12000円
- ・保育は、中央公民館の和室研修室を予約しているが、当日空いていれば「1Fの保育室」も使用する。
- ・保育用の軽食・お茶、講師用のお茶、保育名前用のタックシールは保育部会が準備。
- ・保育用グッズは父母連準備。
- ・当日の簡単なパンフレットを高山さんが作成。
- ・始めの挨拶と講師紹介：須藤先生、終りの挨拶：高山さん
- ・「全国保育団体連絡会」による保育制度改善に関する署名用紙・・・保育部会で準備

※逆井先生の著書の紹介・販売

※保育部会、父母連事務局18：30集合